

グローバル・プロスペクティブ・ファンド 〈愛称 イノベーティブ・フューチャー〉

運用報告書（全体版）

第3期（決算日 2022年5月20日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「グローバル・プロスペクティブ・ファンド」は、2022年5月20日に第3期の決算を行ないましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2019年6月28日から2029年5月21日までです。
運用方針	主として、日本を含む世界の金融商品取引所に上場されている、破壊的イノベーションを起こし得るビジネスを行なう企業の株式（預託証券を含みます。）を投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「日興AM ARKディスラプティブ・イノベーション・ファンド クラスA」円建投資証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

<644730>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 騰 落				
(設定日)	円		円		%		%	百万円
2019年6月28日	10,000		—		—		—	113,560
1期(2020年5月20日)	12,147		0		21.5		—	368,054
2期(2021年5月20日)	20,724		0		70.6		—	817,356
3期(2022年5月20日)	10,416		0		△49.7		—	331,453

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

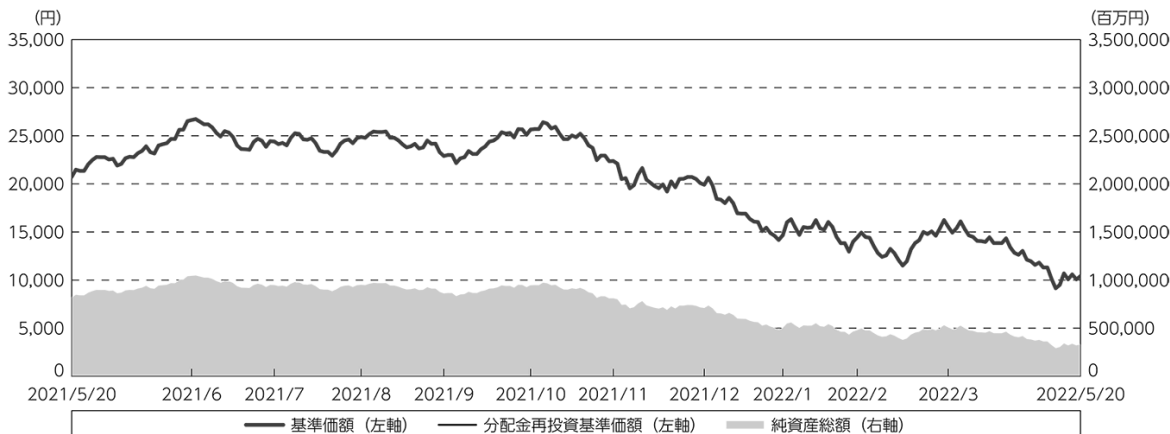
年 月 日	基準	標準価額		投 資 信 託 組 入 比	託 券 率
		騰 落	率		
(期首)	円		%		%
2021年5月20日	20,724		—		99.0
5月末	22,775		9.9		99.0
6月末	26,640		28.5		99.0
7月末	24,403		17.8		99.1
8月末	24,875		20.0		99.2
9月末	22,902		10.5		99.0
10月末	25,649		23.8		99.2
11月末	22,376		8.0		99.1
12月末	19,907		△3.9		99.2
2022年1月末	14,656		△29.3		98.9
2月末	14,433		△30.4		98.9
3月末	15,545		△25.0		99.1
4月末	11,957		△42.3		99.1
(期末)					
2022年5月20日	10,416		△49.7		99.1

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2021年5月21日～2022年5月20日)

期中の基準価額等の推移



期首：20,724円
 期末：10,416円（既払分配金（税込み）：0円）
 騰落率：△ 49.7%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首（2021年5月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、日本を含む世界の金融商品取引所に上場されている、破壊的イノベーションを起こし得るビジネスを行なう企業の株式（預託証券を含みます。）を投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・ 好調なマクロ経済指標や企業業績動向などを背景に、主要株式市場が上昇を続けたこと。
- ・ 米国の債務上限問題を巡る懸念や中国の不動産開発大手のデフォルト（債務不履行）懸念の後退などからセンチメントが回復し、市場が再び上値を追ったこと。
- ・ 米国の早期テーパリング（量的緩和の縮小）や金利の上昇などを背景に、アメリカドルや主要通貨に対して円安が進んだこと。

<値下がり要因>

- ・サプライチェーン（供給網）問題や、インフレ圧力、中国の不動産開発大手のデフォルトリスクなどが市場の下押し材料となったこと。
- ・米国の利上げペースの加速化懸念や、ロシア・ウクライナ情勢の深刻化を受けて世界的にリスクオフが広がったこと。
- ・中国のロックダウン（都市封鎖）長期化による世界経済への影響が懸念されたこと。

投資環境

（株式市況）

世界の主要株式市場は、期間の初めと比べて下落しました。

期間の初めから2021年8月末にかけては、景気回復を示す好調なマクロ経済指標や企業業績動向などを好材料に良好なセンチメントが続き、新型コロナウイルスのデルタ株の感染拡大や、世界的なインフレ過熱懸念、中国政府による産業規制強化懸念などをこなしつつ、主要株式市場はグロース株を牽引役に史上最高値を迫る上昇基調が続きました。

しかしその後9月は、米国の年内テーパリング開始観測が広がるなかで、サプライチェーン問題や、景気減速懸念、エネルギー価格の急騰や物価上昇圧力などがセンチメントの悪化要因となりました。中国の不動産開発大手のデフォルトリスクや米国長期金利の上昇を受けたテクノロジー株への売り圧力も下押し材料となり、市場は上昇一服となりました。

10月からは、米国の債務上限問題懸念や中国の不動産開発大手のデフォルト懸念の後退などからセンチメントが回復し、新型コロナウイルスの経口薬の開発進展なども好材料に市場は大きく反発し、再び上値を迫る上昇となりました。その後、欧州における感染再拡大や新たな変異株であるオミクロン株の出現から一時下落するも、オミクロン株の重症化リスクが低いことやワクチンの有効性が示されると過度の警戒感が薄れ、主要株式市場は年末にかけて史上最高値を更新しました。

2022年に入ると、米国の金融政策の転換への警戒感や、インフレ懸念、金利の急伸、ロシア・ウクライナ情勢などの悪材料が重なり、主要株式市場の下げ幅が急速に拡大しましたが、3月後半にはロシアとウクライナとの間の停戦協議進展への期待などから反発しました。その後は、中国のロックダウンが長期化することによる世界経済への影響や、米国の金融政策においてタカ派（景気に対して強気）色が強まっていることなどが重しとなり、株価は下落基調となりました。5月には、米国で0.5%の利上げとバランスシート縮小の6月開始が決定されました。内容が市場予想の範囲内であったことやパウエル米国連邦準備制度理事会（FRB）議長発言などから利上げ加速懸念は後退しましたが、インフレによる企業業績の悪化などを受けて上値の重い展開が続き、主要株式市場は期間の初めと比べて下落しました。

為替市場では、米国の早期テーパリングや金利上昇を織り込んだことなどから、期間末にかけて対アメリカドル・対主要通貨で大きく円安が進みました。

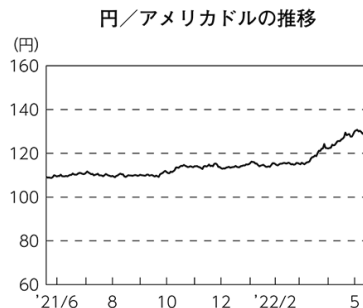
（国内短期金利市況）

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.02%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.02%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.11%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.13%近辺で期間末を迎えました。

(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

当ファンドは、収益性を追求するため、「日興AM ARKディスラプティブ・イノベーション・ファンド クラスA」円建投資証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

(日興AM ARKディスラプティブ・イノベーション・ファンド クラスA)

期間中は、当ファンドの標準的なポートフォリオ管理プロセスに基づいた取引が大半を占めました。当ファンドでは、市場が拡大する局面では、流動性の高い大型株を買い増すことでポートフォリオの拡大と分散を図り、逆に市場が縮小する局面では、過度に売却される傾向が強い比較的小規模の株式を選好することで、確信度の高い銘柄に集約・集中させています。2022年以降はこのようなアクティブ戦略により、組入銘柄よりも売却銘柄の方が多くなると見込まれます。

個別銘柄では、ズーム・ビデオ・コミュニケーションズ（ソフトウェア・サービス）などの組入比率を引き上げました。新型コロナウイルスの感染拡大を機に、1.5兆アメリカドル規模の企業向け通信分野で「総入れ替え」サイクルが開始されたとみています。これは約30年前にインターネットが登場して以来初となる大規模な製品入れ替えサイクルで、このシフトは一時的なものにとどまらなると考えています。「ステイホーム」によって促進されたこの変化は、出社と在宅勤務を組み合わせたハイブリッドワークにおける「つながりの維持」や「競争の維持」へとシフトしました。企業向け通信分野では競争が激化しつつありますが、当ファンドでは企業は最終的に最も技術的に合理化されたソリューションを採用するとみています。

一方、マクロ主導で株式市場が下落した局面で、長期の投資テーマに関連する企業固有の問題から確信度が大きく低下したジロー・グループ（不動産）を全売却しました。アルゴリズムを利用した住宅事業からの撤退の発表について、当ファンドでは、データへのアクセスは十分にあるものの、AIブライシング・アルゴリズムに関する執行上の問題から生じた結果であり、また、高いバランスシート・リスクを伴う「iBuying」（価格査定アルゴリズムを活用した住宅の直接買い取り）ビジネスモデルのスケラビリティ（規模の拡大に対応できる能力）に疑問を投げかけていると判断しました。

また、東南アジアや中南米などを中心に国際的にデジタル・エンターテインメント、eコマース、デジタル金融サービス事業を展開するシー（メディア・娯楽）については、利益確定売りの好機と判断したことから2021年に売却しましたが、強い確信を維持していたため2022年1月に再び組み入れました。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第3期
	2021年5月21日～ 2022年5月20日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	6,877

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、「日興AM ARKディスラプティブ・イノベーション・ファンド クラスA」円建投資証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

(日興AM ARKディスラプティブ・イノベーション・ファンド クラスA)

引き続き、主として日本を含む世界の金融商品取引所に上場されており、破壊的イノベーションを起こし得るビジネスを行なう企業の株式（預託証券を含みます。）に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

株式の銘柄選定にあたっては、破壊的イノベーションに関連するテーマを幅広く調査し、社会課題解決への寄与という観点を加味して投資対象銘柄を選別していく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年5月21日～2022年5月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 176	% 0.858	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(34)	(0.165)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(135)	(0.660)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(7)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.006	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(0)	(0.001)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
合 計	177	0.864	
期中の平均基準価額は、20,509円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

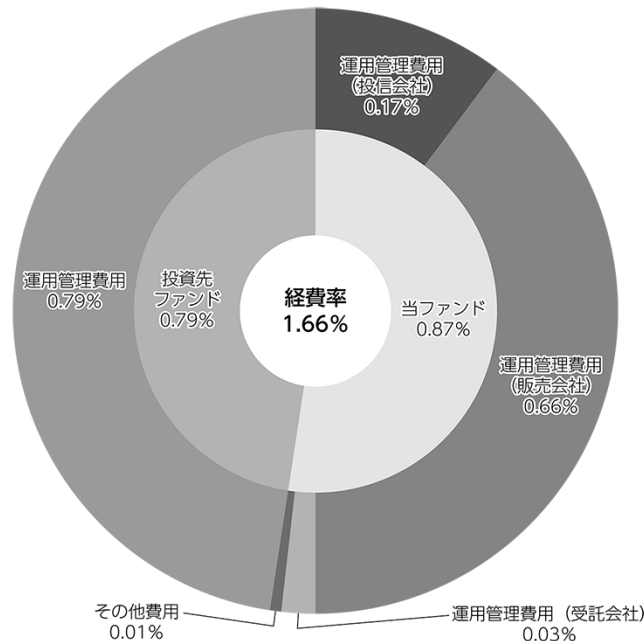
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

(参考情報)

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.66%です。



(単位:%)

経費率(①+②)	1.66
①当ファンドの費用の比率	0.87
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.79

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年5月21日～2022年5月20日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	日興AM ARKディスプレイ・イノベーション・ファンドクラスA	千口 —	千円 —	千口 74,042	千円 148,110,966

(注) 金額は受け渡し代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
	マネー・アカウント・マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 454,000	千円 455,044

○利害関係人との取引状況等

(2021年5月21日～2022年5月20日)

利害関係人との取引状況

<グローバル・プロスペクティブ・ファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
投資信託証券	百万円 —	百万円 —	% —	百万円 148,110	百万円 148,110	% 100.0
金銭信託	114	114	100.0	114	114	100.0

<マネー・アカウント・マザーファンド>

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2021年5月21日～2022年5月20日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況 (2021年5月21日～2022年5月20日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細 (2022年5月20日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	期首(前期末)	当 期		末
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
		千口	千口	千円	%
日興AM ARKディスラプティブ・イノベーション・ファンド クラスA		382,300	308,258	328,387,951	99.1
合 計		382,300	308,258	328,387,951	99.1

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当 期		末
		口 数	口 数	評 価 額	
		千口	千口	千円	
マネー・アカウント・マザーファンド		813,604	359,604	360,431	

(注) 親投資信託の2022年5月20日現在の受益権総口数は、601,330千口です。

○投資信託財産の構成 (2022年5月20日現在)

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資証券	328,387,951	98.1
マネー・アカウント・マザーファンド	360,431	0.1
コール・ローン等、その他	6,079,726	1.8
投資信託財産総額	334,828,108	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年5月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	334,828,108,619
コール・ローン等	6,079,725,823
投資証券(評価額)	328,387,951,510
マネー・アカウント・マザーファンド(評価額)	360,431,286
(B) 負債	3,374,825,278
未払解約金	1,074,444,471
未払信託報酬	2,279,620,217
未払利息	2,071
その他未払費用	20,758,519
(C) 純資産総額(A-B)	331,453,283,341
元本	318,227,764,601
次期繰越損益金	13,225,518,740
(D) 受益権総口数	318,227,764,601口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,416円

(注) 当ファンドの期首元本額は394,404,827,342円、期中追加設定元本額は14,558,451,532円、期中一部解約元本額は90,735,514,273円です。

(注) 1口当たり純資産額は1.0416円です。

○損益の状況 (2021年5月21日～2022年5月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 1,232,246
受取利息	1,336
支払利息	△ 1,233,582
(B) 有価証券売買損益	△318,666,710,341
売買益	39,601,122,039
売買損	△358,267,832,380
(C) 信託報酬等	△ 6,380,717,426
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	△325,048,660,013
(E) 前期繰越損益金	186,282,897,467
(F) 追加信託差損益金	151,991,281,286
(配当等相当額)	(32,592,152,589)
(売買損益相当額)	(119,399,128,697)
(G) 計(D+E+F)	13,225,518,740
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	13,225,518,740
追加信託差損益金	151,991,281,286
(配当等相当額)	(32,592,152,557)
(売買損益相当額)	(119,399,128,729)
分配準備積立金	186,284,436,686
繰越損益金	△325,050,199,232

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2021年5月21日～2022年5月20日)は以下の通りです。

項 目	2021年5月21日～ 2022年5月20日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	32,592,152,557円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	186,284,436,686円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	218,876,589,243円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	6,877円
g. 分配金	0円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	0円
------------------	----

○お知らせ

約款変更について

2021年5月21日から2022年5月20日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

種類・項目	日興AM ARKディスラプティブ・イノベーション・ファンド クラスA	
	ルクセンブルグ籍円建外国投資法人	
運用の基本方針		
基本方針	信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いません。	
主な投資対象	世界の株式（預託証券等を含みます。）を主要投資対象とします。	
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> ・先進国および新興国の破壊的イノベーションに関連する企業の株式を主要投資対象とします。 ・銘柄選定は個別企業や産業に対する独自の分析に基づいて行なわれます。 	
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・純資産の5%を超えてUCITSやその他UCIs（ETFを除きます。）への投資は行ないません。 ・原則として、同一発行体が発行する有価証券の組入れは、純資産総額の10%以内とします。 ・借入れ額は、純資産総額の10%以内とします。 	
収益分配	投資主総会もしくは取締役会の決議で収益分配を行なうことがあります。	
ファンドに係る費用		
信託報酬など	純資産総額に対して年率0.8% (国内における消費税等相当額はかかりません。)	
申込手数料	ありません。	
信託財産留保額	ありません。	
その他の費用など	事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、監査費用、信託財産に関する租税など。	
その他		
投資顧問会社	日興アセットマネジメント アメリカズ・インク	
管理会社	日興AMルクセンブルグ・エス・エイ	
信託期間	無期限	
決算日	原則として、毎年12月末日	

◆投資ポートフォリオ

日興AM ARKディスラプティブ・イノベーション・ファンド

2021年12月31日現在

数量/額面	銘柄	通貨	市場価格 (米ドル)	純資産価額に 占める割合 (%)
公式取引所に上場されている譲渡可能証券				
	ベルギー			
2,602,652.00	MATERIALISE NV-ADR	USD	62,125,303.24 62,125,303.24	0.87 0.87
	カナダ			
184,946.00	SHOPIFY INC - CLASS A	USD	254,742,770.94 254,742,770.94	3.59 3.59
	イスラエル			
5,851,942.00	COMPUGEN LTD	USD	25,163,350.60	0.35
3,476,339.00	STRATASYS LTD	USD	85,135,542.11 110,298,892.71	1.20 1.55
	ルクセンブルク			
1,310,982.00	SPOTIFY TECHNOLOGY SA	USD	306,809,117.46 306,809,117.46	4.32 4.32
	スイス			
2,743,260.00	CRISPR THERAPEUTICS AG	USD	207,884,242.80 207,884,242.80	2.93 2.93
	米国			
1,511,313.00	BLOCK INC	USD	244,092,162.63	3.44
9,710,964.00	CERUS CORP	USD	66,131,664.84	0.93
1,410,900.00	COINBASE GLOBAL INC -CLASS A	USD	356,068,833.00	5.01
664,711.00	DOCUSIGN INC	USD	101,242,132.41	1.43
5,035,721.00	DRAFTKINGS INC - CL A	USD	138,331,255.87	1.95
2,216,044.00	EDITAS MEDICINE INC	USD	58,835,968.20	0.83
3,373,301.00	EXACT SCIENCES CORP	USD	262,544,016.83	3.70
10,351,104.00	GINKGO BIOWORKS HOLDINGS INC	USD	86,017,674.24	1.21
2,308,175.00	INTELLIA THERAPEUTICS INC	USD	272,918,612.00	3.84
12,997,255.00	INVITAE CORP	USD	198,468,083.85	2.79
3,184,952.00	IOVANCE BIOTHERAPEUTICS INC	USD	60,800,733.68	0.86
2,388,886.00	IRIDIUM COMMUNICATIONS INC	USD	98,637,102.94	1.39
1,386,663.00	LENDINGCLUB CORP	USD	33,529,511.34	0.47
106,806.00	NANOSTRING TECHNOLOGIES INC	USD	4,510,417.38	0.06
371,410.00	ORGANOVO HOLDINGS INC	USD	1,348,218.30	0.02
6,090,024.00	PACIFIC BIOSCIENCES OF CALIF	USD	124,601,891.04	1.75
3,225,549.00	PAGERDUTY INC	USD	112,087,827.75	1.58
9,928,114.00	PALANTIR TECHNOLOGIES INC-A	USD	180,790,955.94	2.55
5,127,303.00	ROBINHOOD MARKETS INC - A	USD	91,060,901.28	1.28
300,952.00	ROBLOX CORP -CLASS A	USD	31,046,208.32	0.44
1,938,210.00	ROKU INC	USD	442,299,522.00	6.22
4,773,858.00	SIGNIFY HEALTH INC -CLASS A	USD	67,884,260.76	0.96
6,459,339.00	SKILLZ INC	USD	48,057,482.16	0.68
4,278,755.00	TELDAC HEALTH INC	USD	392,875,284.10	5.53
571,183.00	TESLA INC	USD	603,614,770.74	8.49
889,361.00	TRIMBLE INC	USD	77,543,385.59	1.09
3,076,609.00	TUSIMPLE HOLDINGS INC - A	USD	110,296,432.65	1.55
1,043,331.00	TWILIO INC - A	USD	274,750,785.54	3.87
1,078,971.00	TWIST BIOSCIENCE CORP	USD	83,501,565.69	1.18
4,513,014.00	TWITTER INC	USD	195,052,465.08	2.75
5,794,345.00	UIPATH INC - CLASS A	USD	249,910,099.85	3.52
2,609,234.00	UNITY SOFTWARE INC	USD	373,094,369.66	5.25
2,645,855.00	VERACYTE INC	USD	109,009,226.00	1.53
2,092,131.00	ZOOM VIDEO COMMUNICATIONS-A	USD	384,763,812.21	5.42
846,406.00	10X GENOMICS INC-CLASS A	USD	126,080,637.76	1.78
3,321,923.00	2U INC	USD	66,670,994.61	0.94
552,725.00	3D SYSTEMS CORP	USD	11,905,696.50	0.17
			6,140,374,962.74	86.46
			7,082,235,289.89	99.72
有価証券ポートフォリオ合計			7,082,235,289.89	99.72

純資産の要約（米ドル）

		純資産価額に 占める割合（%）
有価証券ポートフォリオ合計	7,082,235,289.89	99.72
銀行預金	25,275,873.42	0.36
その他の資産および負債	(5,058,204.84)	(0.08)
純資産合計	7,102,452,958.47	100.00

ポートフォリオの内訳

セクター配分	ポートフォリオ に占める割合 (%)	純資産に 占める割合 (%)
化粧品	29.38	29.30
コンピューター・ソフトウェア	26.63	26.55
インターネット	18.21	18.16
自動車部品・装置	10.08	10.05
金融サービス	5.50	5.49
各種サービス	4.39	4.38
その他	5.81	5.79
	100.00	99.72

国別配分	ポートフォリオ に占める割合 (%)	純資産に 占める割合 (%)
米国	86.70	86.45
ルクセンブルク	4.33	4.32
カナダ	3.60	3.59
スイス	2.94	2.93
その他	2.43	2.43
	100.00	99.72

◆損益計算書および純資産変動計算書

日興AM ARKディスラプティブ・イノベーション・ファンド

2021年12月31日に終了した会計年度

米ドル

収益	
配当（源泉徴収税控除後）	6,673,467.37
その他の収益	8,589.82
運用会社からの払戻	161,415.11
収益合計	6,843,472.30
費用	
運用報酬	70,147,768.80
預託報酬	493,696.54
管理報酬	4,658,158.84
専門家報酬	40,288.89
取引費用	621,709.12
年次税	959,999.29
銀行利息および手数料	65,102.57
名義書換代理人報酬	4,574.97
印刷および出版費用	7,695.95
設立費	1,270.20
その他の費用	65,178.56
費用合計	77,065,443.73
投資純損失	(70,221,971.43)
実現純利益（損失）:	
投資	1,757,261,160.69
外国為替取引	(1,895,143.28)
外国為替先渡契約	420,585.76
当期実現純利益	1,685,564,631.74
未実現評価（損）益の純変動額:	
投資	(4,273,481,996.98)
外国為替先渡契約	219.00
運用による純資産の純減少額	(2,587,917,146.24)
受益証券申込に係る受取代金	2,631,893,650.14
受益証券払戻に係る純支払額	(1,573,560,413.43)
期首純資産	8,632,036,868.00
期末純資産	7,102,452,958.47

◆統計情報

日興AM ARKディスラプティブ・イノベーション・ファンド

2021年12月31日現在

日興AM ARKディスラプティブ・イノベーション・ファンド

2021年12月31日現在

純資産価額	USD	7,102,452,958.47
-------	-----	------------------

受益証券1口当たり純資産価額

クラス A JPY	USD	18.00
クラス A USD	USD	19.33
クラス B EUR	USD	24.07
クラス B SGD	USD	13.42
クラス B USD	USD	20.99
クラス D EUR	USD	11.00
クラス D GBP	USD	13.34
クラス D USD	USD	13.70
クラス U AUD	USD	14.28
クラス U NZD	USD	13.18

受益証券1口当たり純資産価額

クラス A JPY	JPY	2,062.50
クラス A USD	USD	19.33
クラス B EUR	EUR	21.16
クラス B SGD	SGD	18.09
クラス B USD	USD	20.99
クラス D EUR	EUR	9.67
クラス D GBP	GBP	9.85
クラス D USD	USD	13.70
クラス U AUD	AUD	19.65
クラス U NZD	NZD	19.25

受益証券口数

クラス A JPY	344,267,866.75
クラス A USD	33,847,582.57
クラス B EUR	157,377.39
クラス B SGD	4,403,497.98
クラス B USD	755,868.08
クラス D EUR	183,991.01
クラス D GBP	315,001.29
クラス D USD	117,446.08
クラス U AUD	9,738,204.59
クラス U NZD	4,270,111.91

マネー・アカウント・マザーファンド

運用報告書

第12期（決算日 2021年10月12日）
（2020年10月13日～2021年10月12日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月30日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行ないません。 外貨建資産への投資は行ないません。

ファンド概要

主として、わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行ないます。ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率		
8期(2017年10月12日)	円		%	%	百万円
	10,038		△0.0	—	661
9期(2018年10月12日)	10,032		△0.1	—	595
10期(2019年10月15日)	10,028		△0.0	—	586
11期(2020年10月12日)	10,025		△0.0	—	888
12期(2021年10月12日)	10,023		△0.0	—	1,125

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	
		騰 落	率
(期 首)	円		%
2020年10月12日	10,025		—
10月末	10,025		0.0
11月末	10,025		0.0
12月末	10,024		△0.0
2021年1月末	10,024		△0.0
2月末	10,024		△0.0
3月末	10,024		△0.0
4月末	10,024		△0.0
5月末	10,024		△0.0
6月末	10,024		△0.0
7月末	10,024		△0.0
8月末	10,023		△0.0
9月末	10,023		△0.0
(期 末)			
2021年10月12日	10,023		△0.0

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2020年10月13日～2021年10月12日)

基準価額の推移

期間の初め10,025円の基準価額は、期間末に10,023円となり、騰落率は△0.0%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値下がり要因>

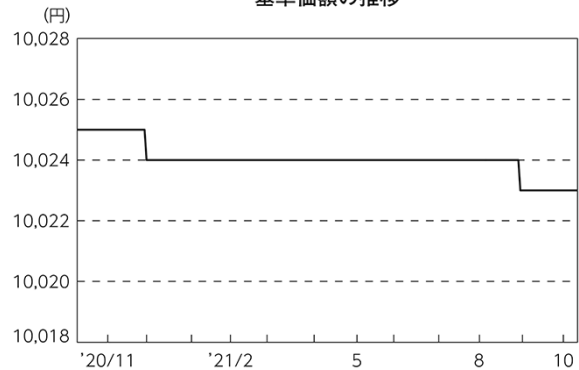
- ・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.02%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.03%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券(TB)3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.09%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.11%近辺で期間末を迎えました。

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2020/10/12	2020/10/13	2021/08/31	2021/10/12
10,025円	10,025円	10,023円	10,023円

ポートフォリオ

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2020年10月13日～2021年10月12日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2020年10月13日～2021年10月12日)

該当事項はございません。

○利害関係人との取引状況等

(2020年10月13日～2021年10月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2020年10月13日～2021年10月12日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2021年10月12日現在)

2021年10月12日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2021年10月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 1,128,083	% 100.0
投資信託財産総額	1,128,083	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年10月12日現在)

項	目	当	期	末
(A) 資産				円
	コール・ローン等			1,128,083,201
(B) 負債				1,128,083,201
	未払解約金			2,243,646
	未払利息			2,243,348
				298
(C) 純資産総額(A-B)				1,125,839,555
	元本			1,123,207,498
	次期繰越損益金			2,632,057
(D) 受益権総口数				1,123,207,498口
	1万口当たり基準価額(C/D)			10,023円

(注) 当ファンドの期首元本額は886,572,186円、期中追加設定元本額は632,898,400円、期中一部解約元本額は396,263,088円です。

(注) 2021年10月12日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・グローバル・プロスペクティブ・ファンド	813,604,225円	・インデックスファンドMLP (1年決算型)	1,009,598円
・中華圏株式ファンド(毎月分配型)	144,398,955円	・日興マナー・アカウント・ファンド	1,004,347円
・グローバルC o C o債ファンド 円ヘッジコース	23,567,575円	・欧州社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	767,047円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(マナー・ブルファンド)	17,087,728円	・日興グラビティ・ファンド	728,091円
・アジア社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	13,715,420円	・ビムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジあり	617,119円
・エマージング・プラス(マナー・ブルファンド)	13,252,514円	・グローバルC o C o債ファンド 新興国高金利通貨コース	378,361円
・アジア・ヘルスケア株式ファンド	9,595,620円	・グローバルC o C o債ファンド 先進国高金利通貨コース	334,265円
・インデックスファンドMLP (毎月分配型)	7,918,306円	・アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし)	328,616円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース>(毎月分配型)	7,756,251円	・欧州社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	315,851円
・ビッグデータ新興国小型株ファンド(1年決算型)	7,325,378円	・世界標準債券ファンド(1年決算型)	307,458円
・世界標準債券ファンド	6,868,613円	・アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)	214,081円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース	6,581,650円	・グローバル株式トップフォーカス	213,583円
・RS豪ドル債券ファンド	5,978,333円	・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランド・コース>(毎月分配型)	154,691円
・グローバルC o C o債ファンド ヘッジなしコース	5,749,668円	・上場インデックスファンド海外新興国株式(MSCIエマージング)	99,902円
・アジア社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	4,825,092円	・ノーロード・シンガポール高配当株式フォーカス(毎月分配型)	91,586円
・アジアリートファンド(毎月分配型)	4,759,510円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジあり)	71,604円
・エマージング・プラス・成長戦略コース	4,256,314円	・上場インデックスファンド海外先進国株式(MSCI-KOKUSAI)	19,997円
・グローバル・ダイナミックヘッジα	3,233,491円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500)	19,983円
・ビムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジなし	3,094,075円	・上場インデックスファンド豪州リート(S&P/ASX200 A-REIT)	19,977円
・アジアREITオープン(毎月分配型)	2,445,197円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジなし)	19,904円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<米ドル・コース>(毎月分配型)	1,898,319円	・上場インデックスファンド新興国債券	9,981円
・グリーン世銀債ファンド	1,880,386円	・DC世界株式・厳選投資ファンド	9,977円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<オーストラリアドル・コース>(毎月分配型)	1,463,018円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500) 為替ヘッジあり	9,967円
・SMB C・日興 世銀債ファンド	1,404,460円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジあり)	9,958円
・オーストラリア・インカム株式ファンド(毎月分配型)	1,330,360円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジなし)	9,958円
・ノーロード・インド株式フォーカス(毎月分配型)	1,276,352円		
・エマージング・プラス・円戦略コース	1,174,786円		

(注) 1口当たり純資産額は1,0023円です。

○損益の状況

(2020年10月13日～2021年10月12日)

項	目	当	期
(A)	配当等収益		△ 135,779
	受取利息		277
	支払利息		△ 136,056
(B)	当期損益金(A)		△ 135,779
(C)	前期繰越損益金		2,192,863
(D)	追加信託差損益金		1,525,067
(E)	解約差損益金		△ 950,094
(F)	計(B+C+D+E)		2,632,057
	次期繰越損益金(F)		2,632,057

(注) 損益の状況の中で(D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2020年10月13日から2021年10月12日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。